

(案)

(仮) あいち未来応援プラン2027
(第3期愛知県生涯学習推進計画)

～自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会～

概要版

(2023年度～2027年度)

第1章 計画の基本的な考え方

① なりたい自分になる

生涯学習に取り組むに当たっては、各ライフステージに渡って、自己を高め、「なりたい自分になる」、「幸せという人生の価値を創造する」を目標とすることが大切です。

また、学習で得た知識や経験を地域に還元することで、様々な課題を解決しようという視点を持ちながら、家庭づくり、地域づくり、学校づくり、職場づくりという生活の場面を安定させることができる、主体的な人格を形成する取組の実施が重要です。

本県では、こうした取組を支える学びを推進し、10年後、20年後を見据えた社会づくりのために自分は何ができるのかを考えていける環境を実現するため、多様な主体と連携・協働しながら総合的、効果的に取組を進めます。

② 計画策定の背景

生涯学習を取り巻く社会経済情勢の変化

- 未曾有の少子高齢・人口減少社会
- 人生100年時代の到来
- 貧困と格差の問題
- 家庭教育の困難化
- 情報環境の変化
- 社会のつながりの希薄化
- 持続可能な開発目標（SDGs）の実現
- 地域とともにある学校づくりの推進
- 雇用環境の変化
- 外国人県民の増加による課題
- 新型コロナウイルスなど感染症パンデミックの影響

③ 計画の趣旨

本計画は、生涯学習の推進に関係する様々な主体に期待される役割を示すとともに、本県生涯学習施策体系の整理とこれに沿った主要事業の内容を明らかにするものです。

④ 本県の特徴

① 大学等高等教育機関の集積

- 多数の大学等高等教育機関が集積し、それぞれ大学等の特色を生かした公開講座の開催や社会人の受入など、様々な生涯学習に関連した活動を展開しています。

② 企業の積極的な地域貢献活動

- 企業が積極的に地域貢献を実施し、文化施設の設置等、生涯学習支援を展開しています。

③ 持続可能な社会づくりに向けた活発な取組

- 愛・地球博や生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）、持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議の開催を通じ、持続可能な社会づくりに向けた活動を続けており、ユネスコスクールの加盟・申請校数は全国1位の160校となっています。

④ 外国人に対する日本語学習支援事業等の取組

- 日本語指導が必要な児童生徒が全国で最も多く、自治体やNPO等の団体が主体となって、日本語学習支援などの様々な活動を展開しています。

⑤ 計画の期間

2023年度から2027年度まで（5か年）

⑥ 基本理念

「自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会」を実現していきます。

⑦ 基本理念を実現するための3本の柱と、それを支える生涯学習推進体制づくり

3つの柱を設定し、総合的な推進を進めるとともに、3つの柱を支える生涯学習を推進する体制づくりに取り組みます。

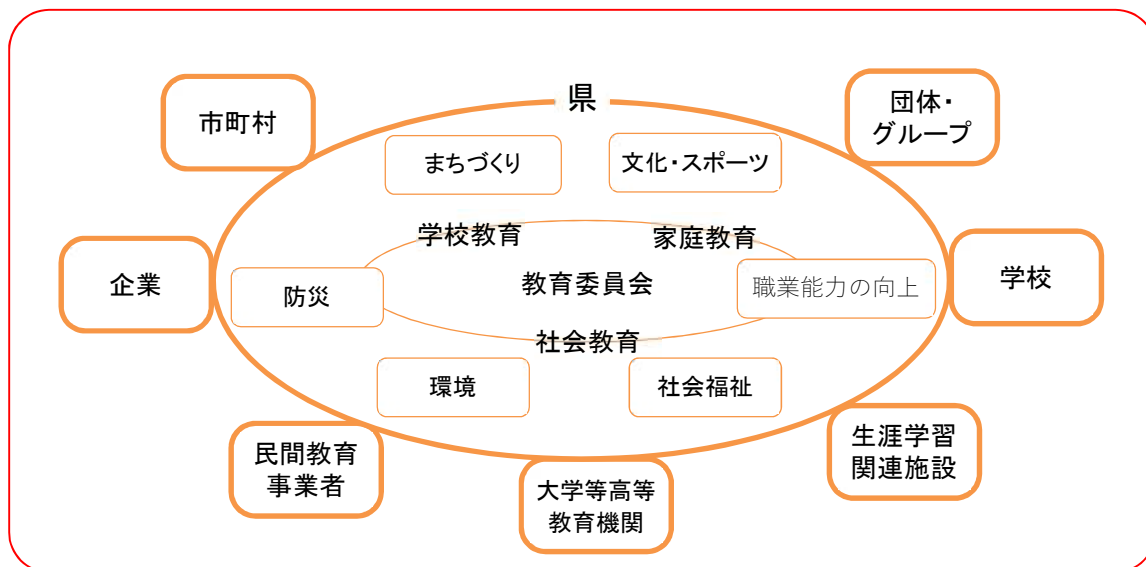
第1の柱 自己を高め、豊かに生きる生涯学習



⑧ 計画の目標

基本理念の実現を図るため、計画期間において達成すべき具体的な目標（全体目標・個別目標）を設定します。

<本計画における生涯学習推進のイメージ図>



県において、学校教育、家庭教育、社会教育を担う教育委員会の施策及び知事部局の所管する、まちづくり、文化スポーツ、職業能力の向上などの生涯学習関連施策を総合的かつ効果的に実施するとともに、市町村、団体・グループ、学校等の各主体と連携・協働しながら、本県の生涯学習を推進していくことをイメージしたもの

第2章 生涯学習に関わる各主体に期待される役割

生涯学習の推進は、行政機関だけでなく、民間の団体や、本県の特色ともいえる集積する大学等高等教育機関、地域・社会貢献を積極的に推進する多数の企業など、様々な主体によって担われています。第2章では各主体がその特性を十分に発揮しつつ連携・協働することにより、本県生涯学習の一層の推進が図られるよう、各主体に期待される役割等を明らかにしています。

① 団体・グループ

- 行政や従来の地縁団体からなる支援組織だけでなく、様々な市民活動団体などの連携による地域課題の共有や解決に向けた取組の推進
- 高齢者が地域で活動する多様な機会の提供
- 多様な地域人材で構成するチームによる、家庭への学びの機会を提供するアウトリーチ型の支援

② 学校（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校など）

- 幅広い団体との緩やかな連携により、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」の役割
- 子供たちにボランティア活動等、地域の様々な活動や行事に参加を促すとともに、ふるさとへの誇りと愛着を育むこと
- 福祉部局や労働部局との連携による誰一人取り残さない、切れ目のない支援

- 部活動に代わる質の高い活動の機会を確保できる十分な体制を整える取組
- ③ 生涯学習関連施設
 - 高齢者の学びの場、急激に変化する社会に対応するための学び場として、多様化するニーズに応える学習機会の充実
 - 公民館と学校が連携し、地域の課題解決にあたる「あてにし、あてにされる関係」の構築
- ④ 大学等高等教育機関
 - 職業人のキャリアアップ、高齢者の社会参画など、社会人や高齢者の学習ニーズの積極的な取り入れ
 - コーディネーター役の育成等、社会人の学び直し（リカレント教育）の支援
 - 産官学、NPO等の連携による、教育研究資源を活用した地域課題解決の促進や、学生の地域活動等の促進
- ⑤ 民間教育事業者
 - 独自の発想による、高度で多様化する県民の学習ニーズに対応する特色ある学習機会の提供
 - 放送事業者による幅広い情報提供及び通信・放送技術を活用した生涯学習の機会提供
 - フリースクールなど、困難を抱えた子どもの居場所づくりの提供と社会的自立の支援
- ⑥ 企業
 - ワーク・ライフ・バランスの推進等による、労働者が自己啓発や地域活動に勤しむことがし やすい環境の整備
- ⑦ 市町村
 - 社会教育に関する専門的な知識や経験を持つ自治体職員の育成
 - 学習成果を地域に還元しやすい環境を作り、地域住民によるまちづくりなどを進めることによるコミュニティの再構築
 - 住民の学習成果を生かす場の積極的な提供と、活動の場につなぐコーディネーターの養成及び資質の向上
- ⑧ 県
 - 生涯学習情報システム「学びネットあいち」の改良による学習者の利便性の向上
 - 市町村単独では実施しにくい専門性の高い講師を招聘した人材育成や、先導的な生涯学習関連事業の展開
 - 関係部局、関係機関との連携促進及び県民がより充実した学習活動を行え、地域の課題解決に貢献できる環境の整備への働きかけ

第3章 県の生涯学習施策の展開

計画の基本理念を実現するためには、教育委員会と知事部局が相互に関連する施策について整合性を図りながら、緊密に連携して本県の施策を総合的かつ効果的に推進することが重要です。

そこで、第3章では、社会経済情勢の変化に的確に対応できるよう、3本の柱に沿った、県の生涯学習施策を展開します。

1 自己を高め、豊かに生きる生涯学習

(1) 豊かな人間性と生きる力を育む学校教育・仕組みづくりの充実

生きる力の育成、困難を抱えた児童生徒や外国人等への対応等、多様な学びを保障する学校づくり・仕組みづくり、発達段階に応じたキャリア教育の充実 など

(2) 健康づくり・スポーツ活動の推進

「あいち健康づくりプラザ」を中心とした健康長寿の交流拠点づくり、「愛知県社会福祉協議会福祉生きがいセンター」を中心とした高齢者の生きがいづくり、マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知、2026年度アジア競技大会、アジアパラ競技大会を契機としたスポーツ活動の機運醸成 など

(3) 食育の推進

「食育ネットあいち」による情報発信、食育推進ボランティアの活動支援、学校、家庭への食育の啓発 など

(4) 文化芸術の振興

国際芸術祭「あいち」の開催、高校生の文化活動発表の場の提供（アートフェスタ）、障害者の芸術活動支援、伝統芸能の保存・伝承への支援、博物館や美術館を活用したふるさと愛知の学習機会の充実、子供読書活動の充実 など

(5) 「ものづくり」の継承と発展

ものづくり愛知の未来を担う理数工学系人材の育成、技能五輪・アピリンピックの開催を通じたものづくり人材の育成、航空産業の担い手の育成、あいちSTEM教育の推進 など

(6) 職業能力の向上

職業訓練への支援、専門高校生の職業能力の向上の推進、新規就農者等の育成、農業大学校における研修活動の充実 など

(7) 若者等の職業意識・職業観の醸成

学校現場におけるキャリア教育の推進、起業家精神の育成、若者・女性・就職氷河期世代への就職支援 など

(8) 社会人の学び直しの推進

県立大学における高度で専門的な知識を有する職業人の育成、関係団体と協働したリカレントに関する普及啓発活動、中学校未卒業者、高等学校未卒業者への自立支援、「学びネットあいち」による通信教育や公開講座などの学習情報の発信 など

2 人をつなぎ、地域をつくる生涯学習

(1) 地域学校協働活動の推進

地域学校協働活動の積極的な推進、PTA 会員を対象とした研修会の開催や情報交換の機会提供、部活動の円滑な地域移行 など

(2) 高齢期の学びと社会参加活動の促進

「あいちシルバーカレッジ」の開催、公民館活動、老人クラブ活動への支援 など

(3) 家庭教育の充実を子育て支援

「親の学び」学習プログラムの充実と活用促進、家庭教育支援チームの設置促進、子育てネットワークの養成、子供の学習支援の推進、父の育児参加の促進、子ども会連絡協議会の支援、生活困窮世帯等への支援 など

(4) 青少年の健全育成

「子ども・若者総合指導センター」の市町村の設置及び機能強化、経済的に困難な状況にある子供・若者や外国人児童生徒の学習支援、青少年の非行・被害防止、立ち直り、規範意識の向上 など

(5) 人材・団体の育成と調査・研究の推進

社会教育主事など専門性を必要とする職員への研修、地域で生涯学習のコーディネーター的な役割を担う人材の育成、生涯学習ボランティアの活用 など

(6) 安全・安心な生活の確立

基幹的広域防災拠点を中心とした地域の防災人材の育成、意識の啓発、交通安全県民運動等による交通安全意識の高揚、防犯ボランティア活動の活性化支援の推進等による防犯意識の醸成、消費者教育の推進 など

3 未来を築く生涯学習

(1) 持続可能な開発のための教育（ESD）の推進

ユネスコスクールの交流支援、ESD の理念の普及啓発 など

(2) 環境学習・環境活動の推進

あいち環境学習プラザ、もりの学舎における自然環境に関する学習機会の提供、環境リーダーの養成、エコ モビリティ ライフの推進、希少種、外来種に関する普及啓発、三河湾の環境再生、食品ロスの削減 など

(3) 人権意識の啓発

人権に関する指導者向けの研修の実施、学習機会の提供、人権意識・啓発活動 など

(4) 男女共同参画社会の形成

男女共同参画社会に関する学習機会の提供、女性指導者の育成・ネットワーク形成支援、ワーク・ライフ・バランスの推進、女性の農業従事者の活躍場所の拡大 など

(5) 多文化共生社会の推進

県民の理解促進、日本語教室の人材育成、日本語教育適応学級担当教員の配置 など

(6) 障害者も含む共生社会づくり

支援者の育成、障害者スポーツ活動の推進、就労支援の強化、学校卒業後の共生社会を目指した環境整備 など

4 生涯学習推進体制づくり

(1) 生涯学習推進体制の充実

県関係部局による横断的な組織である生涯学習推進本部の設置による総合的な推進

(2) 学習情報の提供と相談体制の充実

「学びネットあいち」による情報提供機能の充実 など

(3) 生涯学習関連施設の充実

愛知県図書館、美浜自然の家、旭高原自然の家、野外教育センター、愛知県美術館、愛知県陶磁美術館、あいち朝日遺跡ミュージアムにおける生涯学習関連施策の充実 など

数 値 目 標

① 全体目標

今後作成

② 個別目標

今後作成

あいち未来応援プラン2027

(第3期生涯学習推進計画)

～自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会～

2023年 月 愛知県

愛知県教育委員会生涯学習課

〒460-8534

名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話：052-954-6781（ダイヤルイン）

FAX：052-954-6962

メール：syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp

ホームページ：https://www.pref.aichi.jp/soshiki/syogaigakushu/

